

大会日程

9月23日(土) 13:00 - 17:00	シンポジウム1:「日本海洋学会海洋環境問題研究会の活動:過去・現在・未来 -設立50周年を迎えて-」(第2会場)
9月24日(日) 10:00 - 16:45 13:30 - 17:00	シンポジウム2:沿岸海洋シンポジウム「閉鎖性水域における貧酸素水塊の現状と未来 -長期変化と物質循環との関わり」 (理学研究科6号館401号室) シンポジウム3:教育問題研究会20周年記念企画「海洋科学コミュニケーション実践講座(COSIA)体験ワークショップ -学習者に伝わる流れに配慮した学習プログラムを考える-」 (理学研究科6号館204号室)
9月25日(月) 09:30 - 12:00 13:15 - 14:45 15:00 - 17:00 17:30 - 19:00 17:30 - 19:00	口頭発表(第1-4会場) ポスター発表コアタイム(ポスター会場) 口頭発表(第1-3会場) 評議会(第1会場) ナイトセッション:「海洋若手ナイトセッション-海外を経験した若手研究者の道のり-」(第2会場)
9月26日(火) 09:30 - 12:00 13:00 - 17:30 18:00 - 20:00	口頭発表(第1-4会場) 臨時総会・授賞式・受賞記念講演会(百周年時計台記念館 百周年記念ホール) 懇親会(百周年時計台記念館 国際交流ホール)
9月27日(水) 09:30 - 12:00 12:30 - 13:00 13:00 - 17:30	口頭発表(第1-4会場) イベント:若手会員との懇談会(第3会場) 口頭発表(第1-4会場)
9月28日(木) 09:00 - 16:40 09:00 - 12:00 09:00 - 12:00 13:30 - 17:00	シンポジウム4:「BiGeoSCAPES-Japanの始動」(第2会場) シンポジウム5:「2023年の海洋放射能:現状と課題」(第3会場) シンポジウム6:「熱帯域の分野横断型プロジェクトの立案に向けて2023」(第4会場) シンポジウム7:「高次捕食者を利用した海洋汚染のモニタリング」(第4会場)

セッションテーブル

第1会場 (3階30番教室)

第2会場 (2階21番教室)

第3会場 (1階11番教室)

第4会場 (3階31番教室)

9月23日(土)

13
14
15
16

シンポジウム1 海洋環境問題研究会

9月24日(日)

10
11
12
13
14
15
16

シンポジウム2 沿岸海洋シンポジウム

9月24日開催のシンポジウムのみ 北部構内地区にある理学研究科6号館で開催されます。

シンポジウム2 沿岸海洋シンポジウム

シンポジウム3 教育問題研究会

9月25日(月)

9
10
11
12
13
14
15
16
17
18

23F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環	23F-10 海洋と大気の力学	23F-03 物質循環に関わる微生物・ウイルス	23F-13 黒潮大蛇行 23F-15 海洋教育アウトリーチ
-------------------------	--------------------	----------------------------	--------------------------------------

ポスター発表 立会説明 時間：13:15 - 14:45 場所：ポスター会場（人間・環境学研究科棟地階大講義室）			
--	--	--	--

23F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環	23F-10 海洋と大気の力学 23F-04 海洋数値モデリング	23F-01 温暖化酸性化貧酸素化と生態系
-------------------------	-------------------------------------	--------------------------

評議会	若手ナイトセッション
-----	------------

9月26日(火)

9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

23F-14 中緯度海洋の果たす役割	23F-04 海洋数値モデリング	23F-02 微量元素同位体放射性核種の循環	23F-17 海洋学一般
-----------------------	---------------------	---------------------------	-----------------

臨時総会・授賞式・受賞記念講演 百周年時計台記念館 百周年記念ホール			
---------------------------------------	--	--	--

懇親会 百周年時計台記念館 国際交流ホール			
--------------------------	--	--	--

9月27日(水)

9
10
11
12
13
14
15
16
17

23F-14 中緯度海洋の果たす役割	23F-06 熱帯の物理・化学・生物	23F-08 海洋プラスチック	23F-16 海洋陸水相互作用
-----------------------	-----------------------	--------------------	--------------------

23F-07 極域・寒冷域の海洋環境変動	23F-12 日本海・隣接海域の物理化学生物	若手会員との懇談会 23F-08 海洋プラスチック	23F-09 気候・海洋生態系の変動と予測
		23F-05 北西太平洋における生物地球化学	

9月28日(木)

9
10
11
12
13
14
15
16

シンポジウム4 BiGeoSCAPES-Japanの始動	シンポジウム5 2023年の海洋放射能：現状と課題	シンポジウム6 熱帯域の分野横断型プロジェクト
---------------------------------	------------------------------	----------------------------

シンポジウム4 BiGeoSCAPES-Japanの始動

シンポジウム7 捕食者を用いた海洋汚染モニタリング

第1会場		第2会場	
	<p>23F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環 堤英輔(鹿大)・永井平(水研機構)・ 中国正寿(香川大)・日高弥子(JAMSTEC)</p> <p>★座長 永井平(水研機構)</p>		<p>23F-10 海洋と大気の力学 増永英治(茨城大)・尾形友道(JAMSTEC)・ 木田新一郎(九大応力研)・三寺史夫(北大低温研)</p> <p>★座長 木田新一郎(九大応力研)</p>
9:30	<p>23F-11-01 河川フロントの流速場の高解像度推定 ○杉原光都(九大院総理工学府)・木田新一郎(九大応力研)</p>	9:30	<p>23F-10-01* 2層モデルにおける西岸境界流統流ジェットの緯度と南北構造 ○久保川厚(北大名誉教授)</p>
9:45	<p>23F-11-02 伊勢湾奥部及びその周辺海域における表層水温の経年変化 ○藤井日向子(東海大院総合理工)・高橋大介(東海大海洋)・神田幸司(名古屋港水族館)</p>	9:45	<p>23F-10-02 トカラ海峡における非線形な黒潮-海山相互作用に伴う成層乱流 ○高橋杏(APL-UW・東大大海研)・Ren-Chieh Lien(APL-UW)・Eric Kunze(NWRA)・Barry Ma(APL-UW)・中村啓彦(鹿大水産)・仁科文子(鹿大水産)・堤英輔(鹿大水産)・井上龍一郎(JAMSTEC)・長井健容(海洋大)・遠藤貴洋(九大応力研)</p>
10:00	<p>23F-11-03 志津川湾の環境評価に向けた三次元流動モデル開発と湾内流動特性の解明 ○中村隆志(東工大環境・社会)・坂巻隆史(東北大工)・畑山遼真(東工大環境・社会)・ライラ笑太(琉大理)・栗原 晴子(琉大理)</p>	10:00	<p>23F-10-03 東シナ海陸棚斜面域における黒潮中層のエネルギー散逸 ○中村啓彦(鹿大水産)・仁科文子(鹿大水産)・堤英輔(鹿大水産)・井上龍一郎(JAMSTEC)・HS. Min (KIOST)・H. Na (SNU)・C. Jeon (PNU)・J.-H. Park (Inha Univ.)</p>
10:15	<p>23F-11-04 福島県沖において可視化されたKelvin-Helmholtz不安定様構造の海洋物理学的考察 ○堀之内龍一(海上保安庁海洋情報部)・長澤亮佑(海上保安庁海洋情報部)・沖野真也(京大院工学研究科)</p>	10:15	<p>23F-10-04 渦西岸境界流統流ジェットにおける渦対強制モデルの提案と統流ジェットへの風強制背景流の影響の研究(その2) ○大西晴夏(北大院環境)・久保川厚(北大)</p>
10:30	<p>23F-11-05 沿岸浅海域での懸濁粒子の粒径別濃度の計測結果比較 ○古市尚基(水研機構水産技術研)</p>	10:30	<p>23F-10-05 A mapping methodology adapted to all polar and subpolar oceans with a stretching/shrinking constraint ○Vigan Mensah(Hokkaido Univ.)・Kay I. Ohshima(Hokkaido Univ.)</p>
10:45	<p>23F-11-06 瀬戸内海におけるポリ塩化ビフェニル(PCB)の3次元数値モデル ○Yaxian Li(Ehime Univ.)・Xinyu GUO(Ehime Univ.)・Min YANG(Second Institute Of Oceanography)・Qian LENG(Ehime Univ.)</p>	10:45	<p>23F-10-06 慣性重力波のトポロジカル指数とバルク-エッジ対応 ○大貫陽平(九大応力研)・ENS Lyon, Lab. Phys.)・Antoine Venaille(ENS Lyon, Lab. Phys.)・Pierre Delplace(ENS Lyon, Lab. Phys.)</p>
11:00	<p>★座長 中国正寿(香川大)</p> <p>23F-11-07 瀬戸内海東部播磨灘における堆積物間隙水中アンモニア態窒素濃度の変遷 ○大井惇誠(香川大院農)・中国正寿(香川大農)・山口一岩(香川大農)・一見和彦(香川大農)・瀬戸内研セ)・多田邦尚(香川大農)・瀬戸内研セ)</p>	11:00	<p>23F-10-07 風応力の変化に対する順圧チャネルモデルの流量の非線形応答 ○松田拓朗(北大低温研)・三寺史夫(北大低温研)</p>
11:15	<p>23F-11-08 瀬戸内海および周辺海域におけるpCO₂の空間分布と推定手法の検討 ○藤田真大(神戸大院海事)・林 美鶴(神戸大内海セ)・山下栄次(岡山理大)・廣川綜一(神戸大院海事)</p>	11:15	<p>23F-10-08 Parametric subharmonic instability of M2 internal tides in the Tokara Strait ○Shuya Wang(Ehime Univ.)・Xinyu Guo(Ehime Univ.)・Anzhou Cao(Ehime Univ.)・Eisuke Tsutsumi(Kagoshima Univ.)・Xu Chen(Ocean University of China)</p>
11:30	<p>23F-11-09 大阪湾の溶存態生物活性微量金属の分布 ○橋武蔵(近畿大院総合理工)・鄭臨潔(京大化研)・宗林由樹(京大化研)・江口充(近畿大農)・中口讓(近畿大理工)</p>	11:30	<p>23F-10-09 サハリン島南西における冷水の湧昇メカニズム：ポトムエクマン層の効果 ○高野響生(北大環境)・三寺史夫(北大低温)・佐伯立(北大低温)</p>
11:45	<p>23F-11-10 アイオン・ストリームと親湖域における鉄の季節変化 ○張振龍(北大低温研)・中村知裕(北大低温研)・西岡純(北大低温研)</p>	11:45	<p>★座長 尾形友道(JAMSTEC)</p> <p>23F-10-10 沿岸地形にトラップされた内部潮汐が引き起こす擬似的な M2 順圧潮汐流(Quasi Barotropic Tides) ○増永英治(茨城大)・Kevin Okun(Scripps Institute of Oceanography)・Geno Pawlak(Scripps Institute of Oceanography)・UC San Diego)</p>

開始時刻	第3会場	開始時刻	第4会場
	<p>23F-03 海洋物質循環に関わる微生物・ウイルスの諸現象 —細胞から大洋スケールまで— 山田洋輔 (JAMSTEC)・横川太一 (JAMSTEC)・ 重光雅仁 (JAMSTEC)・佐野雅美 (東大大海研)・遠藤寿 (京大化研)</p> <p>★座長 山田洋輔 (JAMSTEC)</p>		<p>23F-13 黒潮大蛇行 碓氷典久 (気象研)・西川はつみ (東大大海研) ・平田英隆 (立正大学)・瀬藤聡 (水研機構)</p> <p>★座長 碓氷典久 (気象研)</p>
9:30	<p>23F-03-01* 細菌多様性の時空間分布と物質循環のリンクの解明に対して、群 集生態学理論は役に立つのか立たないのか? ○三木健(龍谷大学先端理工学部)</p>	9:30	<p>23F-13-01 黒潮主流の流路パターンと不安定波の挙動 —波長依存性に注目 して— ○島田浩二(海洋大)・鈴木真子(海上保安庁海洋情報部)</p>
9:45	<p>23F-03-02 春季三陸沖のフロントにおける粒子の分布特性 ○福田秀樹(東大大海研)・海老原諒子(東大大海研)・横川太 一(JAMSTEC)・山田洋輔(JAMSTEC)・佐野雅美(東大大海研)・伊 藤幸彦(東大大海研)・永田 俊(東大大海研)</p>	9:45	<p>23F-13-02 海洋速報でみる黒潮大蛇行期における流動変動とその特徴 ○鈴木亨(海洋情報研セ)</p>
10:00	<p>23F-03-03 簡便な現場撮影システムを用いた外洋域における大型凝集体の観 測 ○佐野雅美(東大大海研)・横川太一(JAMSTEC)・福田秀樹(東大 大海研)・永田俊(東大大海研)</p>	10:00	<p>23F-13-03 伊豆海嶺付近の海面力学高度分布の連日計測 (I) ○市川香(九大応力研)・酒見亮佑(九大応力研)・野田穠士郎(九大応 力研)・油布圭(九大応力研)</p>
10:15	<p>23F-03-04 海洋沈降粒子に発達する細菌群集の異なる生活史戦略 ○海老原諒子(東大大海研)・福田秀樹(東大大海研)・山田洋 輔(JAMSTEC)・横川太一(JAMSTEC)・永田俊(東大大海研)</p>	10:15	<p>23F-13-04 東北近海の長期水温変動 ○奥西武(水産機構水産資源研)・長谷川大介(水産機構水産資源研)・ 清水勇吾(水産機構水産資源研)</p>
10:30	<p>23F-03-05 南大洋に生息する <i>Gyrodinium</i> 属渦鞭毛虫の定量的評価: 形態観察 と分子生物学的手法によるアプローチ ○松田亮(創価大)・高橋啓伍(創価大・極地研)・土屋千歩(海洋大)・佐 野雅美(東大大海研)・真壁竜介(極地研・海洋大・総研大)・高尾信 太郎(環境研)・茂木正人(極地研・海洋大)・黒沢則夫(創価大)</p>	10:30	<p>23F-13-05* 北西太平洋を回遊する浮魚の漁場位置と海況の近年の変化 ○日原勉(JAFIC)・矢野泰隆(JAFIC)・渡邊一功(JAFIC)・水野紫津葉 (JAFIC)・源浩輔(JAFIC)・谷津明彦(JAFIC)・酒井光夫(JAFIC)</p>
10:45	<p>23F-03-06 珪藻の進化・繁栄の謎を握る未知の藻類: パルマ藻の生物学 ○桑田晃(水産機構・資源研)・伴広輝(京大化研)・中村洋路(水産機 構・資源研)・山田和正(福井県立大)・佐藤晋也(福井県立大)・吉川伸 哉(福井県立大)・緒方博之(京大化研)・一宮陸雄(熊本県立大)</p>	10:45	<p>23F-13-06 文献調査による1990年以前の黒潮大蛇行と漁況との関係 ○瀬藤聡(水産機構水産資源研)・日下彰(水産機構水産資源研)</p>
11:00	<p>23F-03-07 EukBank メタバーコーディングデータを用いたパルマ藻の全球規 模海洋分布の解明 ○伴広輝(京大化研)・遠藤寿(京大化研)・桑田晃(水産機構・資源研)・ 緒方博之(京大化研)</p>	11:00	<p>休憩</p>
11:15	<p>23F-03-08 溶存態rRNAを指標としたプランクトン死滅溶解の推定 ○遠藤寿(京大化研)・緒方博之(京大化研)</p>	11:15	<p>23F-15 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題 丹羽淑博 (極地研)・善田邦夫 (東海大)・須賀利雄 (東北大)・ 川合美千代(東京海洋大)</p> <p>★座長 丹羽淑博 (極地研)</p>
11:30	<p>23F-03-09 長期温暖化に伴い溶存有機物が海洋中の酸素に及ぼす影響 ○重光雅仁(JAMSTEC)・山本彬友(JAMSTEC)・岡頭(東大)・阿部彩子 (東大)・山中康裕(北大)</p>	11:30	<p>23F-15-01 ADS(北極域データアーカイブシステム)の海水データを利用した 海洋教育 ○丹羽淑博(極地研国際極域・地球環境研究推進セ)・毛利亮子(極地 研北極観測セ)・矢吹裕伯(極地研国際極域・地球環境研究推進セ)</p>
11:45	<p>23F-03-10 溶存態有機物濃度による海洋細菌の表面性状変化とナノ粒子附着 の関係解明 ○山田洋輔(JAMSTEC)・望月俊昭(OIST)・星野辰彦(JAMSTEC)・ Nirav Patel(カリフォルニア大サンディエゴ)・Farooq Azam(カリ フォルニア大サンディエゴ)・福田秀樹(東大大海研)・御手洗哲 司(OIST)</p>	11:45	<p>23F-15-02 学生向けを意識した解説論文「海中天気予報」の紹介 ○林田博士(JAMSTEC)・宮澤泰正(JAMSTEC)・美山透(JAMSTEC)・ 馬場雄也(JAMSTEC)・木戸晶一郎(JAMSTEC)</p>
		11:45	<p>23F-15-03 海洋状況表示システム「海しる」の利活用拡大に向けたアウト リーチ活動 ○渡邊俊一(内閣府総合海洋政策推進事務局)・山尾理(内閣府総合海 洋政策推進事務局)・井隆之(内閣府総合海洋政策推進事務局)・勢田 明大(海上保安庁海洋情報部)・楠富寿夫(海上保安庁海洋情報部)</p>

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	<p>23F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環 堤英輔(鹿大)・永井平(水研機構)・ 中国正寿(香川大)・日高弥子(JAMSTEC)</p> <p>★座長 中国正寿(香川大)</p>		<p>23F-10 海洋と大気の力学 増永英治(茨城大)・尾形友道(JAMSTEC)・ 木田新一郎(九大応力研)・三寺史夫(北大低温研)</p> <p>★座長 尾形友道(JAMSTEC)</p>
15:00	<p>23F-11-11 宮城県志津川湾における海洋酸性化・貧酸素化の発生とその機構 ○ライラ笑太(琉大理工)・栗原晴子(琉大理)・坂巻隆史(東北大工)・中村隆志(東工大環境・社会理工)</p>	15:00	<p>23F-10-11 領域海洋モデルを用いたサンゴ礁への台風影響検討に向けた研究 ○上平雄基(鹿島建設技術研究所)・岩前伸幸(鹿島建設技術研究所)・ 山木克則(鹿島建設技術研究所)・内山雄介(神戸大工)</p>
15:15	<p>23F-11-12 六角川感潮域における栄養塩再生 ○速水祐一(佐賀大)・高巢裕之(長崎大)・小森田智大(熊本県立大)</p> <p>★座長 日高弥子(JAMSTEC)</p>	15:15	<p>23F-10-12 高海面水温上での海上気温上昇の抑制 ○青島美穂(富山大理工学研究科)・田口文明(富山大学術研究部)・安 永数明(富山大学術研究部)・濱田篤(富山大学術研究部)</p>
15:30	<p>23F-11-13 有明海湾奥部における懸濁物のサイズ組成とその変動要因 ○山口聖(水産機構技術研)・岡村和唐(水産機構技術研)・杉松宏一 (水産機構技術研)</p>	15:30	<p>23F-10-13 UVI 雲追跡風の観測システムシミュレーション実験によるロス ビー波の再現とその金星大気循環への影響 ○小守信正(慶大自然科学・日吉物理)・杉本 憲彦(慶大自然科学・日吉物 理)・藤澤由貴子(慶大自然科学・日吉物理)・阿部未来(横国大先進学 環)・神山徹(産総研DigIARC)・安藤紘基(京産大理)・高木征弘(京産大 理)・山本勝(九大応力研)</p>
15:45	<p>23F-11-14 有明海湾奥部筑後川河口域における <i>Chaetoceros</i> 属および <i>Skeletonema</i> 属ブルームの終息と海洋構造 ○岩永卓也(佐賀有明水振セ)・豊福太樹(佐賀玄海水振セ)・中原啓太 (佐賀有明水振セ)・明日川貴子(佐賀県県民環境部)・太田洋志(佐賀 有明水振セ)・山口聖(水産機構技術研)・野口浩介(佐賀有明水振セ)</p>	15:45	<p>23F-10-14 AFES-Venusで再現された水平超粘性に依存しないスーパーロー テーション ○杉本憲彦(慶大日吉物理・自然科学)・藤澤由貴子(慶大自然科学)・小守 信正(慶大自然科学)・櫻村博基(神大CPS)・高木征弘(京産大理)・松田佳 久(東京学芸大自然科学)</p>
16:00	<p>23F-11-15 赤潮指数を用いた瀬戸内海東部・播磨灘におけるヤコウチュウ赤 潮の長期変動解析 ○渡邊翔(香川大農)・中国正寿(香川大農)・石塚正秀(香川大創造 工)・山口一岩(香川大農)・一見和彦(香川大農)・瀬戸内園研究セ)・多 田邦尚(香川大農)・瀬戸内園研究セ)</p>	16:00	<p>休憩</p>
			<p>23F-04 海洋数値モデリング:先進モデル・大循環モデルから データ同化まで 広瀬成章(気象研)・松村義正(東大大海研)・大石俊(理研計算科学) ・藤原泰(神戸大海事科学)・佐々木英治(JAMSTEC)</p> <p>★座長 松村義正(東大大海研)</p>
16:15	<p>23F-11-16 駿河湾奥部におけるメソ動物プランクトンの群集構造:海産枝角 類を中心として ○剣持瑛行(東海大海洋研)・日高弥子(JAMSTEC)・Dhugal Lindsay(JAMSTEC)・Mehul Naresh Sangekar(JAMSTEC)・松浦弘行 (東海大海洋)・吉川尚(東海大海洋)・宗林留美(静岡大理)・大林由美 子(愛媛大沿岸セ)・西川淳(東海大海洋)</p>	16:15	<p>23F-04-01* 気候・炭素循環変動予測研究のためのシミュレーション基盤構築 ○建部洋晶(JAMSTEC)・鈴木立郎(JAMSTEC)・小室芳樹 (JAMSTEC)・齋藤冬樹(JAMSTEC)・草原和弥(JAMSTEC)・渡辺路生 (JAMSTEC)・小山博司(JAMSTEC)・片岡崇人(JAMSTEC)・山上遥航 (JAMSTEC)・川崎高雄(東大大海研)</p>
16:30	<p>23F-11-17 生態系循環予測モデルの構築 -陸上養殖モデルケース- ○鈴木彩(日本電信電話株・NTT宇宙環境エネ研)・小山晃(日本電信 電話株・NTT宇宙環境エネ研)・高橋円(日本電信電話株・NTT宇宙環 境エネ研)・久田正樹(日本電信電話株・NTT宇宙環境エネ研)</p>	16:30	<p>23F-04-02 解像度が1度程度の全球海洋モデルの改良 ○中野英之(気象研)・浦川昇吾(気象研)・豊田隆寛(気象研)・川上雄 真(気象研)・青木邦弘(気象研)</p>
16:45	<p>23F-11-18 舞鶴湾の冬季植物プランクトン動態 -気象条件との関係 ○鈴木啓太(京大フィールド研)</p>	16:45	<p>23F-04-03 最終氷期における気候と大西洋子午面循環の変化に対する炭素 同位体指標の数値シミュレーション ○小林英貴(東大大海洋研)・富山大)・岡頭(東大大海洋研)・小長 谷貴志(東大大海洋研)・阿部彩子(東大大海洋研)</p>

9月25日（月）午後

下線付き発表ID：若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場
	<p>23F-01 地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化の海洋生態系への影響評価 小笠恒夫（水研機構）・藤井賢彦（東大大海研）・芳村毅（北大水産）</p> <p>★座長 芳村毅（北大水産）</p>
15:00	<p>23F-01-01 簡易生物地球化学を含めた領域海洋将来予測データセット (FORP version4) の開発 ○西川史朗(JAMSTEC)・杉山徹(JAMSTEC)・黒木聖夫(JAMSTEC)・遠藤伸彦(JAMSTEC)・中野英之(気象庁気象研究所)・辻野博之(気象庁気象研究所)・石川洋一(JAMSTEC)</p>
15:15	<p>23F-01-02 サンマ来遊予測モデルの高度化 ○寛茂穂(水産機構資源研)・富士泰期(水産機構資源研)・橋本緑(水産機構資源研)・納谷美也子(水産機構資源研)・伊藤 進一(東大大気海洋研)・宮本洋臣(水産機構資源研)・巢山哲(水産機構資源研)</p>
15:30	<p>23F-01-03 北太平洋での過去半世紀の海洋貧酸素化に対する観測データセットとラージアンサンプル/CMIPモデルとの比較 ○阿部 佑美(北大院理)・見延庄士郎(北大院理)</p>
15:45	<p>23F-01-04 Seasonal and long-term variations of oxygen depletion in the East China Sea ○Zilin Li(Ehime Univ.)・Xinyu Guo(Ehime Univ.)・Tsuneo Ono(Japan Fisheries Research and Education Agency)</p> <p>★座長 藤井賢彦（東大大海研）</p>
16:00	<p>23F-01-05 アルカリ度を用いた陸水の北西太平洋域への影響評価 ○所立樹(国立環境研究所)・中岡慎一郎(国立環境研究所)・高尾信太郎(国立環境研究所)・斉藤秀(気象庁)・笹野大輔(気象庁)・延与和敬(気象庁)・石井雅男(気象研究所)・小杉如央(気象研究所)・野尻 幸宏(国立環境研究所)</p>
16:15	<p>23F-01-06 降水時における沿岸表層pH低下現象の詳細過程 ○小笠恒夫(水産機構・資源研)・太齋彰浩(サスティナビリティセンター)・藤井賢彦(東大大気海洋研)・田中文裕(里海づくり研究会議)</p>
16:30	<p>23F-01-07 温度ストレスに対する浮遊性有孔虫光共生系の応答 ○高木悠花(千葉大学)・関根真(千葉大学)・齊藤宏明(東大大気海洋研)</p>
16:45	<p>23F-01-08 深紫外線面光源を用いた係留機器用生物付着防止装置の開発 ○中野善之(JAMSTEC)・脇田昌英(JAMSTEC)</p>

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	23F-14 中緯度海洋の果たす役割 岡島悟 (東大先端研)・遠山勝也 (気象研)・山上遥航 (JAMSTEC)・ 三部文香 (東北大理)		23F-04 海洋数値モデリング・先進モデル・ 大循環モデルからデータ同化まで 広瀬成章 (気象研)・松村義正 (東大大海研)・ 大石俊 (理研計算科学)・藤原泰 (神戸大海事科学)・ 佐々木英治 (JAMSTEC)
	★座長 山上遥航 (JAMSTEC)		★座長 藤原泰 (神戸大海事科学)
9:30	23F-14-01* 全球雲解像海洋結合モデルNICOCOを用いた大気海洋相互作用研究 ○宮川知己(東大)・升永竜介(JAMSTEC)・八代尚(環境研)・山田洋平(JAMSTEC)・川崎高雄(東大)・藤澤雄太郎(東大)	9:30	23F-04-04 湾モデルで再現された室戸の急潮現象 ○青木邦弘(気象研)・中野英之(気象研)・坂本圭(気象庁環境・海洋気象課)・広瀬成章 (気象研)・碓氷典久 (気象研)・豊田隆寛(気象研)・浦川昇吾 (気象研)・川上雄真(気象研)
9:45	23F-14-02 黒潮統流域におけるメソ～総観規模低気圧の統計解析 ○九鬼雪花(富山大院理工)・濱田篤(富山大院理工)・田口文明(富山大学術研究部)・安永数明(富山大学術研究部)	9:45	23F-04-05 Numerical modeling of ocean circulation in Otsuchi Bay ○Kim Yoo-Jun(AORI, Univ. Tokyo)・Tanaka Kiyoshi(AORI, Univ. Tokyo)・Sakamoto Takashi(Ocean Eyes Co., Ltd)・Komatsu Kosei(AORI, Univ. Tokyo)
10:00	23F-14-03 黒潮統流域で強化される低気圧が冬季北太平洋の気圧変化場を与える影響について ○秦駿斗(日本気象協会)・根田昌典(京大院理)	10:00	23F-04-06 波浪推算モデルSWANを用いた物理過程の比較 ○三浦悠(株式会社気象工学研究所)・櫻井佳世(株式会社気象工学研究所)・高田望(株式会社気象工学研究所)
10:15	23F-14-04 東シナ海の急激な昇温に伴う停滞前線周辺の豪雨の強化 一令和3年8月の大雨の事例解析― 坂上輝展(三重大)・○万田敦昌 (三重大)・野中正見(JAMSTEC)・中村尚(東大先端研)・飯塚聡(防災科研)	10:15	23F-04-07 波浪に伴う海水輸送と反流応答 (1)：直接数値計算による検証 ○藤原泰(神戸大海事科学)・松村義正(東大大海研)
10:30	23F-14-05 Kuroshio warming in the East China Sea intensified the Meiyu-Baiu rainband ○Yu-Xiang Qiao(Kagoshima Univ.)・Hirohiko Nakamura(Kagoshima Univ.)・Tomohiko Tomita(Kumamoto Univ.)	10:30	23F-04-08 東京湾における生態系-生物光学結合モデルの構築による水中光学環境の再現計算 ○中山大雅(JAXA・EORC)・比嘉敏士(横国大都市イノベ)・村上浩(JAXA・EORC)
10:45	★座長 國吉優太 (東京大院)		
10:45	23F-14-06 因果関係ネットワークを用いた日本周辺における冬季の気温偏差の駆動機構に関する研究 ○矢口公貴(東大院理)・東塚知己(東大院理)	10:45	23F-04-09 陸棚堆積物から供給された溶存鉄の拡がりの推定 ○土居知将 (JAMSTEC)・長船哲史(JAMSTEC)・額須慎也(JAMSTEC)・小畑元(東大大海研)・三角和弘(電力中央研究所)・西岡純(北大低温研)
11:00	23F-14-07 北太平洋移行領域への黒潮水貫入と黒潮統流の長期変動 ○松田拓朗(北大低温研)・三寺史夫(北大低温研)	11:00	23F-04-10 海洋アンサンブル解析プロダクトLORA：海面水温バイアスへの大気強制の影響 ○大石俊(理化学研究所)・三好建正(理化学研究所)・可知美佐子(JAXA)
11:15	23F-14-08 氷期の数千年スケール海洋循環変動に対するGM係数依存性 ○國吉優太(東大理)・阿部彩子(東大理)・陳永利(JAMSTEC)	11:15	23F-04-11 日本近海長期海洋再解析FORA-JPN60の作成 (1) 再解析実験の概要 ○碓氷典久(気象業務支援センター・気象研)・広瀬成章(気象業務支援センター・気象研)・西川史朗(JAMSTEC)・五十嵐弘道(JAMSTEC)・坂本圭(気象庁)・浅井博明(気象庁)・中野英之(気象業務支援センター・気象研)・石川洋一(JAMSTEC)
11:30	23F-14-09 北太平洋中緯度水温塩分偏差の東進：海洋熱波との関連 ○新沼拓(東大大海研)・富士通)・安田一郎(東大大海研)		
11:45	23F-14-10 北太平洋移行領域亜表層における二重拡散対流の分布とその季節性 ○小林ゆい(東北大院理)・須賀利雄(東北大院理)・JAMSTEC)		

第3会場		第4会場	
	<p>23F-02 微量元素・同位体・放射性核種の生物地球化学循環 漢那直也(東大大海研)・高田兵衛(福島大)・ 眞塩麻彩実(金沢大理工)</p> <p>★座長 眞塩麻彩実(金沢大理工)</p>		<p>23F-17 海洋学一般 プログラム編成委員会</p>
9:30	<p>23F-02-01 北太平洋亜鉛濃度分布を支配する海洋物質循環プロセスの解明 ○杉野公則(東大大海研)・岡頭(東大気海洋研)</p>	9:30	<p>23F-17-01 バッシプレーダによる海面流速計測に関する検討 ○灘井章嗣(NICT沖繩)</p>
9:45	<p>23F-02-02 福島沿岸における海水中放射性セシウム濃度の変遷と流入量の推定 ○佐藤俊(福島大環境放射能研)・高田兵衛(福島大環境放射能研)・大 槻哲(福島大環境放射能研)・脇山義史(福島大環境放射能研)</p>	9:45	<p>23F-17-02 東京湾浦賀水道における海水交換に及ぼす風の効果 ○北出裕二郎(東京海洋大学)</p>
10:00	<p>23F-02-03 スルメイカの肝臓を用いた日本周辺海域における240Pu/239Pu同 位体比長期変動の把握と起源の推定 ○山田正俊(海洋生物環境研究所・海洋環境グループ)</p>	10:00	<p>23F-17-03 太平洋における遷移層特性の空間分布と季節変化 ○粟野翔太(京大院理)・吉川裕(京大院理)</p>
10:15	<p>23F-02-04 キジハタ脊椎骨に蓄積される鉛供給源の特定 ○野村亮介(富山大・持)・堀川恵司(富山大・理)・申基澈(総合地球 研)・中島一歩(富山水試)</p>	10:15	<p>23F-17-04 北西太平洋におけるソルトフィンガー型二重拡散対流の分布と変 動 大藪良祐(東大大海研・日立)・○安田一郎(東大大海研)・佐々木雄亮 (東大大海研)</p>
10:30	<p>23F-02-05 太平洋における海水中微量金属9元素 (Al, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb) の分布 ○鄭臨潔(京大化研)・南知晴(金沢大学総合技術)・陳卓然(京大化 研)・高野祥太郎(京大化研)・宗林由樹(京大化研)</p>	10:30	<p>23F-17-05 表層混合層乱流が引き起こす沈降粒子の粒径分布の鉛直変化-成 層の効果に関する数値実験 ○西野圭佑(電中研)・吉川裕(京大院理)</p>
10:45	<p>23F-02-06 亜寒帯北太平洋における微量金属の供給とスキベンジング挙動 ○陳卓然(京大化研)・鄭臨潔(京大化研)・宗林由樹(京大化研)</p>	10:45	<p>23F-17-06 親潮域に優占する <i>Neocalanus</i> 属カイアシ類2種の表層出現タイ ミングに環境要因が与える影響 ○石田廉(東大院農)・児玉武稔(東大院農)・高橋一生(東大院農)</p>
11:00	<p>23F-02-07 西部北太平洋における亜表層水からの鉄とマクロ栄養塩フラク スに対する植物プランクトンの応答 ○Deng Huailina(Hokkaido University)・Jun Nishioka(Hokkaido University)・Koji Suzukib(Hokkaido University)・Ichiro Yasuda(The University of Tokyo)・Hiroshi Ogawa(The University of Tokyo)</p>	11:00	<p>23F-17-07 南大洋におけるナンキョクスカシイカ <i>Galteuthis glacialis</i> の発育 初期における食性変化 ○立花愛子(海洋大)・宇野唯(海洋大)・若林敏江(水産大学校)・茂木 正人(海洋大・極地研)</p>
11:15	<p>23F-02-08 南部オホーツク海における陸棚起源鉄の供給過程 ○今井望百花(北大環境・北大低温研)・村山愛子(北大低温研)・小野 数也(北大低温研)・山下洋平(北大院地球環境)・鈴木光次(北大院地 球環境)・中村知裕(北大低温研)・大島慶一郎(北大低温研)・三寺史夫 (北大低温研)・西岡純(北大低温研)</p>	11:15	<p>23F-17-08 サロマ湖におけるサイズ別基礎生産力とクロロフィルa量の季節変 動 ○睦志浩(東農大・北大院環境)・塩本明弘(東農大)</p>
11:30	<p>23F-02-09 海水と淡水における白金濃度分布と挙動 ○丸井滉貴(金沢大院自然)・眞塩麻彩実(金沢大理工)・黄国宏(金沢 大理工)・長谷川浩(金沢大理工)</p>	11:30	<p>23F-17-09 小型衛星を用いた海面リモートセンシングの実現 ○平田貴文(NPO Digital 北海道研究会・北大北極セ)・齊藤誠(北大北 極セ)・伊佐田智規(北大北方生物圏セ)・栗原純一(北海道情報大)・望 月貢一郎(株パスコ)・村上浩(JAXA)・高橋幸弘(北大理)</p>
11:45	<p>23F-02-10 ジチオカルバメート修飾セルロース樹脂を用いた海底熱水中貴金 属分析方法の確立 ○上野哲大(金沢大院自然)・眞塩麻彩実(金沢大理工)・黄国宏(金沢 大理工)・谷口剛(金沢大ナノ生命)・西村達也(金沢大ナノ生命)・前 田勝浩(金沢大ナノ生命)・長谷川浩(金沢大理工)</p>	11:45	<p>23F-17-10 稲村ヶ崎渡渉伝説と潮汐(補遺) -果たして実際に渡渉可能な水 深だったのか- ○小田巻実(元海上保安庁海洋情報部)</p>

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	23F-14 中緯度海洋の果たす役割 岡島悟 (東大先端研)・遠山勝也 (気象研)・山上通航 (JAMSTEC)・ 三部文香 (東北大理)		23F-06 熱帯の物理・化学・生物 東塚知己 (東大理)・栗原晴子 (琉球大理)・齊藤宏明 (東大大海研)・ 土井威志 (JAMSTEC)・時長宏樹 (九大応力研)・ 本多牧生 (JAMSTEC)・安中さやか (東北大理)
9:30	23F-14-11 日本以南の亜熱帯モード水が台風と与える影響 ○岡英太郎(東大大海研)・杉本周作(東北大理院)・小橋史明(海洋大)・ 西川はつみ(東大大海研)・金田幸恵(名大 ISEE)・那須野智江 (JAMSTEC)・横浜国大 TRC)・川村隆一(九大院理)・野中正見 (JAMSTEC)	9:30	23F-06-01 2024年白鳳丸東部インド洋観測航海-東部インド洋における海洋 物理・生物地球化学・生態系の統合的理解- ○升本順夫(東大理院)
9:45	23F-14-12 北太平洋亜熱帯モード水に起因する季節躍層の上下動が混合層に与 える影響 ○小橋史明(海洋大)・碓氷典久(気象研)・秋元七海(海洋大)・岩坂直人 (海洋大)・須賀利雄(東北大)・岡英太郎(東大)	9:45	23F-06-02* 東部インド洋における微量金属元素の供給過程 ○小畑 元(東大大海研)・Idha Yulia Ikhsani(東大大海研)・インドネシア 研究イノベーション)・Kuo Hong Wong(金沢大理工)・小川浩史(東 大大海研)
10:00	23F-14-13 北太平洋亜熱帯域における表層貯熱量変動 一その要因と台風との 関係一 ○古谷仁(東北大理院)・杉本周作(東北大理院)	10:00	23F-06-03 ソマリア沖海域の高気性渦「Southern Gyre」の経年変動に伴う夏 季海面水温偏差とその力学過程 ○久住空広(東大理院)・升本順夫(東大理院)
10:15	23F-14-14 Differences in volume variations between lighter and denser portions of Subtropical Mode Water associated with Kuroshio Extension Variability ○TONG WANG(Tohoku Univ.)・TOSHIO SUGA(Tohoku Univ.)・ JAMSTEC)・SHINYA KOUKETSU(JAMSTEC)・BO QIU(University of Hawaii at Manoa)	10:15	23F-06-04 熱帯太平洋における大気・海洋間CO2交換：観測と数値モデルによ る評価 ○石井雅男(気象研)・Brendan Carter(NOAA-PMEL)・遠山勝也(気象 研)・Keith B. Rodgers(IRS-CCP)・飯田洋介(気象庁)・北村佳照(気象 研)・辻野博之(気象研)・Thi-Tuyet-Trang Chau(LSCE)・Flora Desmet(ETH Zürich)・Luke Gregor(ETH Zürich)・Jens D. Müller(ETH Zürich)・Richard A. Feely(NOAA-PMEL)
10:30	23F-14-15 北太平洋中央モード水の体積変動について ○岩坂直人(海洋大工)・小橋史明(海洋大工)・川合義美(JAMSTEC)	10:30	23F-06-05 エルニーニョ現象に伴う東太平洋赤道域の海面水温偏差の形成メカ ニズムと鉛直混合が果たす役割 ○東塚知己(東大理院)・JAMSTEC)・中村航也(東大理院)・木戸晶一郎 (JAMSTEC)・伊地知敬(東大理院)
10:45	23F-14-16 沖縄周辺海域への亜熱帯モード水の10年規模変動の伝播とその酸性 化 ○小野恒(気象庁)・石井雅男(気象研)・笹野大輔(気象庁)	10:45	23F-06-06 高解像度海洋低次生態系モデルにおける植物プランクトンとエル ニーニョ・南方振動の相互作用 ○小池海人(東大理院)・東塚知己(東大理院)・JAMSTEC)・笹井 義一 (JAMSTEC)
11:00	23F-14-17 北海道南東沖における2022年海洋熱波時の溶存酸素濃度 ○川合義美(JAMSTEC)	11:00	23F-06-07 北西太平洋の熱帯低気圧の通過に伴う海面水温低下：塩分層の潜 在的影響のENSOに伴う変動 ○宮城凛太郎(東大理院)・東塚知己(東大理院)
11:15	23F-14-18 季節的混合層変遷に対して異なる沿岸湧昇のタイミングが及ぼす影 響に関する研究 ○Diego Andre Otero Huaman(海洋大)・Gloria Silvana Duran Gomez(海洋大)・ Takeyoshi Nagai(海洋大)		
11:30	23F-14-19 中規模渦によって規定される全球中緯度の漁場 Qinwang XING(山東大・South. Mar. Sci. and Eng. Guangdong Lab.)・ Haiqing YU(山東大・South. Mar. Sci. and Eng. Guangdong Lab.)・Hui WANG(山東大・South. Mar. Sci. and Eng. Guangdong Lab.)・Nat. Mar. Env. Forecast. Center)・Fei CHAI(厦門大)・○伊藤進一(東大大海研)		
11:45	23F-14-20 黒潮主流フロントにおける生物量分布と海洋構造との関係性に関す る研究 ○本間光(水産機構・資源研)・長谷川大介(水産機構・資源研)・田中雄 大(水産機構・資源研)・岡崎雄二(水産機構・資源研)・奥西武(水産機 構・資源研)		

開始時刻	第3会場	開始時刻	第4会場
	<p>23F-08 地球科学における海洋プラスチック 加古真一郎 (鹿大理工)・松岡大祐 (JAMSTEC)・ 片岡智哉 (愛媛大理工)・高橋幸弘 (北大理)・ 日高弥子 (JAMSTEC)・中嶋亮太 (JAMSTEC)</p> <p>★座長 加古真一郎 (鹿大理工)</p>		<p>23F-16 全球から沿岸域までの海洋陸水相互作用 山敷庸亮 (京大総合生学館)・宮澤泰正 (JAMSTEC)・ 木田新一郎 (九大応力研)・Behera Swadhin (JAMSTEC)</p> <p>★座長 山敷庸亮 (京大総合生学館)</p>
9:30	<p>23F-08-01* 超小型衛星による海洋ゴミ観測 ○高橋幸弘(北大理研)・シャケル モハマド(北大院理)・加古真一郎(鹿 児島大)</p>	9:30	<p>23F-16-01 Impacts of river and groundwater on nutrients and phytoplankton growth in Toyama Bay Menghong Dong(Ehime Univ.)・OXinyu Guo(Ehime Univ.)・Takuya Matsuura(University of Yamanashi)・Taichi Tebakari(Chuo Univ.)・ Jing Zhang(University of Toyama)</p>
9:45	<p>23F-08-02 大阪ブルーオーシャンビジョンを達成する廃棄プラスチック削減量 -確率分布モデルによる全球推算 ○樋口千紗(九大応力研)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>	9:45	<p>23F-16-02* 潜水目視調査から見た魚類群集の温暖化応答 ○益田玲爾(京大フィールド科学教育研究セ)</p>
10:00	<p>23F-08-03 日本周辺に漂流するマイクロ、マクロ発泡スチロールの存在量と発 生源の可能性 ○黒田真央(九大)・磯辺篤彦(九大)・東海正(海洋大)・内田圭一(海洋 大)・北門利英(海洋大)</p>	10:00	<p>23F-16-03 日本沿海予測可能性実験における沿岸外洋相互作用研究 ○宮澤泰正(JAMSTEC)・Sergey M. Varlamov(JAMSTEC)・美山透 (JAMSTEC)・章若潮(JAMSTEC)・Yu-Lin K. Chang(JAMSTEC)・林田博 士(JAMSTEC)・木戸晶一郎(JAMSTEC)・郭新宇(JAMSTEC)・愛媛大沿 岸環境科学研究セ)</p>
10:15	<p>23F-08-04 A particle tracking model to uncover fate of riverine plastic debris in Indian Ocean ○Tahira Irfan(Kyushu University)・Atsuhiko Isobe(Kyushu University)・Hiromi Matsuura(Kyushu University)</p>	10:15	<p>23F-16-04 リアルタイム河川流入モデルを組み込んだ海洋予測モデルの応用- 2023年台風2号大雨による流木漂流- ○美山透(JAMSTEC)・宮澤泰正(JAMSTEC)・石井洋(JAMSTEC)</p>
10:30	<p>23F-08-05 海洋プラスチックの岸沖方向分布に関する粒子追跡実験 ○中島広貴(九大総理工)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>	10:30	<p>23F-16-05 大西洋子午面循環に対する北極域河川流出の影響の解析 ○越田勇気(東大大海研)・川崎高雄(東大大海研)・羽角博康(東大大海 研)</p>
10:45	<p>23F-08-06 Transformerモデルを用いたピクセルレベルでの海岸ブラゴミ個別 検出の試み：現状と課題 ○日高弥子(JAMSTEC・鹿大院理工研)・村上幸太郎(JAMSTEC)・川原 慎太郎 (JAMSTEC)・中川友進(JAMSTEC)・杉山大祐(JAMSTEC)・鹿 大院理工研)・加古真一郎(鹿大院理工研)・松岡大祐 (JAMSTEC)・鹿大院理工研)</p>	10:45	<p>23F-16-06 準全球渦解像海洋再解析プロダクトを用いた河川水が海洋上層にも たらすインパクトの評価 ○木戸晶一郎(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)・宮澤泰正 (JAMSTEC)</p>
11:00	<p>23F-08-07 都市河川におけるマイクロプラスチックサンプリングのばらつきと 精度 ○田中衛(理科大理工)・片岡智哉(愛媛大理工)・二瓶泰雄(理科大理工)</p>	11:00	<p>23F-16-07 宇宙移住における海洋の役割と沿岸域の重要性 ○山敷庸亮(京大総合生学館)</p>
11:15	<p>23F-08-08 マイクロプラスチック粒子のサイズと質量の幾何学的関係 ○片岡智哉(愛媛大理工)・CMES)・二瓶泰雄(理科大理工)</p>		
11:30	<p>23F-08-09 Microplastic distribution and dynamics in a rural semi-closed estuary ○Yehao Wang(Univ. Tokyo)・Rei Yamashita(Univ. Tokyo)・ Yoshimasa Matsumura(Univ. Tokyo)・Shin-ichi Ito(Univ. Tokyo)・ Kosei Komatsu(Univ. Tokyo)</p>		
11:45	<p>23F-08-10 瀬戸内海におけるマイクロプラスチックの分布と輸送 ○Yu Bai(Ehime Univ.)・Xinyu Guo(Ehime Univ.)・Tomoya Kataoka(Ehime Univ.)・Hirofumi Hinata(Ehime Univ.)</p>		

第1会場		第2会場	
	<p>23F-07 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究 孫恩愛 (東大大海研)・伊東素代 (JAMSTEC)・塩崎拓平 (東大大海研)・Vigan MENSAH (北大低温研) ★座長 孫恩愛 (東大大海研)</p>		<p>23F-12 日本海とその隣接海域の物理・化学・生物 和川拓 (水研機構)・千手智晴 (九大応力学研)・滝川哲太郎 (長崎大水産)・児玉武稔 (東大農学生命)</p>
13:00	<p>23F-07-01 南西グリーンランド沖に着目した海洋モデル研究 ○大谷若葉(北大院環境)・中山佳洋(北大 低温研)・Ian Fenty(NASA Jet Propulsion Laboratory)・Michael Wood(Moss Landing Marine Laboratories)</p>	13:00	<p>23F-12-01 2022・23年冬の日本海表層の海洋構造 ○柏野祐二(水産大)・立花義裕(三重大)・本田明治(新潟大)・西川はつみ(東大大海研)・山中晴名(三重大)・山本諒(三重大)・畑大地(新潟大)・阿部穂花(新潟大)・三田優里(お茶の水女子大)・美山透(JAMSTEC)</p>
13:15	<p>23F-07-02 北部チャクチ海・カナダ海盆域における砕け氷の生物地球化学的特徴と融解の影響 ○秋野倭太(北大水産)・野村大樹(北大水産)・北大北方フィ・北大北極セ)・佐橋澤志(北大水産)・戸澤愛美(北大水産)・八田真理子(JAMSTEC)・松野孝平(北大水産)・北大北極セ)・遠藤和可奈(北大水産)・塩崎拓平(東大大海研)・川上達也(北大水産)・伊藤優人(極地研)・村田昌彦(JAMSTEC)・藤原周(JAMSTEC)</p>	13:15	<p>23F-12-02 2023年冬季日本海大気海洋同期観測が捉えた中緯度海域での観測史上最強寒波とJPCZ ○立花義裕(三重大)・本田明治(新潟大)・柏野祐二(水産大)・西川はつみ(東大大海研)・山中晴名(三重大)・山本諒(三重大)・阿部穂花(新潟大)・阿部穂花(新潟大自然科学)・三田優里(お茶の水大)・川瀬宏明(気象研)</p>
13:30	<p>23F-07-03 北極海太平洋セクターにおける淡水の流入が海洋表面二酸化炭素分圧に与える影響 ○戸澤愛美(北大院水産)・野村大樹(北大北方フィ)・八田真理子(JAMSTEC)・藤原周(JAMSTEC)・安中さやか(東北大)・村田昌彦(JAMSTEC)</p>	13:30	<p>23F-12-03 2023冬季日本海船舶観測で捉えた局所的大雪をもたらす高気圧性循環と海洋極前線 ○西川はつみ(東大大海研)・本田明治(新潟大)・立花義裕(三重大生物資源)・柏野祐二(水産大)・山中晴名(三重大生物資源)・山本諒(三重大生物資源)・阿部穂花(新潟大自然科学)・三田優里(お茶の水大)・川瀬宏明(気象研)</p>
13:45	<p>23F-07-04 Estimation of ice melt, freshwater budget and their multi-decadal trends in the Baffin Bay and Labrador Sea ○Vigan Mensah(Hokkaido Univ.)・Koji Fujita(Nagoya Univ.)・Miho Ikeda(Hokkaido Univ.)・Mizuki Komatsu(Hokkaido Univ.)・Kay I. Ohshima(Hokkaido Univ.)</p>	13:45	<p>23F-12-04 SSTトレンドの東西バンド構造と日本海通過流の関係 ○松浦浩巳(九大総理工)・木田新一郎(九大応力学研)</p>
14:00	<p>23F-07-05 北極海におけるAMSR2海面水温推定精度低下とその要因 ○溝端浩平(海洋大)・松岡敦(ニューハンプシャー大)</p>	14:00	<p>23F-12-05 波浪予測モデルにより見積もられた日本海波浪場の変動特性 ○上原克人(九大応力学研)</p>
14:15	<p>23F-07-06 北極海太平洋側への大西洋起源水の買入に起因する低酸素化・酸性化 ○西野茂人(JAMSTEC-IACE)・Jinyoung Jung(Korea Polar Research Institute)・Kyoung-Ho Cho(Korea Polar Research Institute)・William J. Williams(Fisheries and Oceans Canada)・藤原周(JAMSTEC-IACE)・村田昌彦(JAMSTEC-GOORC)・伊東素代(JAMSTEC-IACE)・渡邊英嗣(JAMSTEC-IACE)・川合美千代(海洋大)・菊地隆(JAMSTEC-IACE)・Eun Jin Yang(Korea Polar Research Institute)・Sung-Ho Kang(Korea Polar Research Institute)</p>	14:15	<p>23F-12-06 Variations of chlorophyll-a in the Yellow and East China Sea from 1998 to 2021 Zhang, Haoran(名大環境学研究所)・石坂丞二(名大 ISEE)・寺内元基(NPEC)</p>
14:30	<p>23F-07-07 放射性ヨウ素/放射性セシウム比を用いた北極海の海水循環研究 ○熊本雄一郎(海洋機構)・浜島靖典(金沢大)・西野茂人(海洋機構)・井上陸夫(金沢大)・永井尚生(日本大)・松崎浩之(東京大)・山形武晴(東京大)・村田昌彦(海洋機構)・菊地隆(海洋機構)</p>	14:30	<p>23F-12-07 HFレーダーを用いた対馬海峡西水道の海況変動解析 ○松尾俊弥(九大総理工)・上原克人(九大応力学研)・広瀬直毅(九大応力学研)</p>
14:45	<p>23F-07-08 中央北極海メルトバンドのCO2動態と大気との交換過程 ○吉村将希(北大)・野村大樹(北大)・Alison Webb(University of York)・Yuhong Li(Third Institute of Oceanography)・Manuel Dall'osto(Institute of Marine Sciences/CSIC)・Katrin Schmidt(University of Plymouth)・Elise S. Droste(Alfred Wegener Institute)・Ellen Damm(Alfred Wegener Institute)・Emelia J. Chamberlain(University of California San Diego)・Kevin Posman(Bigelow Laboratory for Ocean Sciences)・Hélène Angot(Univ. Grenoble Alpes)・Byron Blomquist(University of Colorado)・猪上淳(極地研)・Bruno Delille(Université de Liège)</p>	14:45	<p>23F-12-08 但馬沖ホタルイカ漁場における物理環境の変動特性 岡田優輝斗(福井県大)・兼田淳史(福井県大)・大谷徹也(兵庫県但馬水産技術センター)・渡慶次力(福井県大)・爲國 翔太(福井県大)</p>
15:00	<p>23F-07-09 自然及び人為ストレス下の北極海洋生態系変動評価 ○平田貴文(NPO Digital 北海道研究会)・北大北極セ)・Irene Alabia(北大北極セ)・Jorge Garcia Molinos(北大北極セ)・大塚夏彦(北大北極セ)・上野洋路(北大水産)・渡邊英嗣(JAMSTEC) ★座長 Vigan MENSAH (北大低温研)</p>	15:00	<p>23F-12-09 流管モデルによる対馬海盆から大和盆への底層流の解析 ○谷村智(九大総理工)・千手智晴(九大応力学研)</p>
15:15	<p>23F-07-10 冬季と春季における南部オホーツク海の植物プランクトン群集の違いとその環境支配要因 ○Yanxu Sun(北大院環境)・Jun Nishioka(北大低温研)・Takenobu Toyota(北大低温研)・Koji Suzuki(北大院地球環境)</p>	15:15	<p>23F-12-10 日本海大和盆に到来する近慣性内部波の励起域 ○酒井秋絵(九大総理工)・千手智晴(九大応力学研)</p>

9月27日 (水) 午後

下線付き発表ID：若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第3会場	開始時刻	第4会場
	<p>23F-08 地球科学における海洋プラスチック 加古真一郎 (鹿大理工)・松岡大祐 (JAMSTEC)・ 片岡智哉 (愛媛大理工)・高橋幸弘 (北大理)・日高弥子 (JAMSTEC)・ 中嶋亮太 (JAMSTEC)</p> <p>★座長 片岡智哉 (愛媛大理工)</p>		<p>23F-09 数ヶ月から数10年スケールの気候・海洋生態系の変動とその予測 土井威志 (JAMSTEC)・豊田隆寛 (気象研)・中野渡拓也 (水研機構)</p> <p>★座長 中野渡拓也 (水研機構)</p>
13:00	<p>23F-08-11 海底堆積物中のマイクロプラスチック分布に関する数値実験 ○許浩東(東大農学生命)・松村義正(東大気海洋研)・山下麗(東大気海洋研)・伊藤幸彦(東大気海洋研)・中野英之(気象研)・伊藤進一(東大気海洋研)</p>	13:00	<p>23F-09-01* 北極海氷の数ヶ月予測手法の改良：海水年齢と海水厚 ○木村詞明(東大気海洋研)・羽角博康(東大気海洋研)・大山元夢(極地研)・山口一(極地研)</p>
13:15	<p>23F-08-12 日本海における海洋マイクロプラスチックの破碎速度の見積り一観測と粒子追跡モデルからの推定 ○竹田大樹(九大院総理工)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>	13:15	<p>23F-09-02 気象研究所海洋大循環モデルにおける海氷の熱力学過程の改良について ○豊田隆寛(気象庁気象研)・坂本圭(気象庁)・豊田威信(北大低温研)・辻野博之(気象庁気象研)・浦川昇吾(気象庁気象研)・川上雄真(気象庁気象研)・山上晃央(気象庁気象研)・小松謙介(気象庁)・山中吾郎(気象庁気象研)・谷川朋範(気象庁気象研)・島田利元(JAXA)・中野英之(気象庁気象研)</p>
13:30	<p>23F-08-13 沿岸海洋における浮遊マイクロプラスチックが示す中層極大：植物プランクトン凝集体による形成過程の検証 ○吉武珠穂(九大院総理工)・磯辺篤彦(九大院応力研)</p>	13:30	<p>23F-09-03 北大西洋亜寒帯循環域における海面水温変動要因の解明 -北極海からの海水放出面積変動による影響- ○高橋宏知(海洋大)・島田浩二(海洋大)</p>
13:45	<p>休憩</p>	13:45	<p>23F-09-04 冬季親潮海域における亜表層水温の経年変動とその予測可能性 ○中野渡拓也(水産機構資源研)・黒田寛(水産機構資源研)・葛西広海(水産機構資源研)・阿部祥子(水産機構資源研)・永井平(水産機構資源研)・瀬藤聡(水産機構資源研)・Hung-Wei Shu(水産機構資源研)・濱津友紀(水産機構資源研)</p>
	<p>23F-05 北西太平洋における生物地球化学的横断研究 野口真希 (JAMSTEC)・藤木徹一 (JAMSTEC)・ 本多牧生 (JAMSTEC)・岩本洋子 (広島大)・多田雄哉 (水俣病総合研)</p> <p>★座長 野口真希 (JAMSTEC)</p>		
14:00	<p>23F-05-01 K2における沈降粒子の季節変動・経年変動特性 ○本多牧生(JAMSTEC)・藤木徹一(JAMSTEC)・喜多村稔(JAMSTEC)・野口真希(JAMSTEC)・原田尚美(AORI)</p>	14:00	<p>23F-09-05 全球海洋における中規模渦活動度の年々変動とその予測可能性 ○木戸晶一郎(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)・宮澤泰正(JAMSTEC)・田口文明(JAMSTEC)・富山大)</p>
14:15	<p>23F-05-02 StK2の沈降粒子中有機化合物の季節変動特性 ○原田尚美(東大・JAMSTEC)・野口真希 (JAMSTEC)・本多牧生(JAMSTEC)・木元克典 (JAMSTEC)・佐藤都(JAMSTEC)・関幸(北大)</p>	14:15	<p>23F-09-06 ENSOの成長における降水偏差の役割 ○片岡崇人(JAMSTEC)・渡部雅浩(東大気海洋研)・鈴木立郎(JAMSTEC)・建部洋昌(JAMSTEC)・Fei-Fei Jin(University of Hawai'i)</p>
14:30	<p>23F-05-03* イベントベースビジョンセンサー(EVS)による近赤外線照明を用いた非侵襲型の海洋粒子高速度測定技術 ○高塚進(ソニーグループ株式会社先端研究部)</p>	14:30	<p>23F-09-07 CFESによる季節予測システム (CFES ESPreSSo) とSINTEX-F2との相互比較 ○尾形友道(JAMSTEC)・小守信正(慶應大)・土井威志(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)</p>
14:45	<p>23F-05-04 蛍光性溶存有機物を用いた黒潮-親潮混合域の水塊解析 ○山下洋平(北大院地球環境)・竹熊俊征(北大理)・田尻慎(北大理)・大井田稔示(総研大)・寛茂穂(水産機構資源研)・大木淳之(北大水産)・平譚享(極地研・総研大)</p>	14:45	<p>23F-09-08 気象庁現業季節予測システムにおける海洋モデル高解像度化の冬季季節予測への影響 ○平原翔二(気象研)・石川一郎(気象研)・藤井陽介(気象研)・足立恭将(気象研)・直江寛明(気象研)</p>
15:00	<p>23F-05-05 北太平洋西部亜熱帯域における表層での溶存酸素濃度変動 ○金沢勇人(東北大院理)・須賀利雄(東北大院理・JAMSTEC)</p>	15:00	<p>23F-09-09 Degree Heating Weekの季節予測 ○土井威志(JAMSTEC)・安中さやか(東北大)・栗原晴子(琉球大)</p>
15:15	<p>23F-05-06 西部北太平洋亜熱帯循環域における水銀関連微生物の動態 ○多田雄哉(国立水俣病総合研究センター)・丸本幸治(国立水俣病総合研究センター)・中嶋亮太(JAMSTEC)・喜多村稔(JAMSTEC)</p>		

9月27日(水) 午後(続き)

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	23F-07 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究 孫恩愛(東大大海研)・伊東素代(JAMSTEC)・ 塩崎拓平(東大大海研)・Vigan MENSAH(北大低温研)		23F-12 日本海とその隣接海域の物理・化学・生物 和川拓(水研機構)・千手智晴(九大応力学研)・ 滝川哲太郎(長崎大水産)・児玉武稔(東大農学生命)
15:30	23F-07-11 北海道オホーツク海陸棚の海底混合層・高濁度水とその行方 植田純生(北大院環境)・中村知裕(北大低温研)・河野時廣(沿海調査 ENG)・伊藤薫(北大低温研)	15:30	23F-12-11 日本海固有水における酸素減少速度の鉛直分布と酸素:硝酸塩:全 炭酸の変動比 ○小杉如央(気象研)・延与和敬(気象庁)
15:45	23F-07-12 温暖化実験により予測される道東沿岸域の海水分布の変化 ○佐伯立(北大低温研)・三寺史夫(北大低温研)・中野渡拓也(水産機構 資源研)・黒田寛(水産機構資源研)・井上知栄(筑波大)・植田宏昭(筑波 大)・岩本勉之(紋別市)	15:45	23F-12-12 若狭湾における原生生物群集の季節間比較 ○片岡剛文(福井県大海洋)・杉本亮(福井県大海洋)・兼田淳史(福井県 大海洋)・山口晴代(環境研)・理塚隆人(福井県大海洋)
16:00	23F-07-13 地球温暖化が親潮域における水質経年変動に及ぼす影響についての 考察 ○鈴木翔太(JAMSTEC・東大院新領域創成科学)・西川悠(JAMSTEC)・ 五十嵐弘道(JAMSTEC)・杉山徹(JAMSTEC)・遠藤伸彦(JAMSTEC)・西 川史朗(JAMSTEC)・石川洋一(JAMSTEC)	16:00	★座長 和川拓(水研機構) 23F-12-13 気象庁現業海況システムで再現した2022年8月の越前海岸急潮 ○広瀬成章(気象庁気象研究所)・岩崎俊祐(福井県水産試験場)・碓水 典久(気象庁気象研究所)・浅井博明(気象庁数値予報課)・石川一郎(気 象庁気象研究所)
16:15	23F-07-14 過去45年間の全球海水生産量の見積もり ○柏瀬陽彦(苫小牧高専)・大島慶一郎(北大低温研)・田村 岳史(国立極 地研)	16:15	23F-12-14 富山深海長谷内の流れの時空間変動 ○千手智晴(九大応力学研)・張勁(富山大)・堀川恵司(富山大)・筒井英人 (長崎大)・酒井秋絵(九大総理工)・大塚進平(富山大)
16:30	23F-07-15 南大洋流氷に出現する大型珪藻の生死と海水融解後の播種 ○高橋啓伍(創価大)・土屋千歩(海洋大)・高尾信太郎(環境研)・佐野雅 美(東大大気海洋研)・真壁竜介(海洋大・極地研・総研大)・茂木正人(海 洋大・極地研)	16:30	23F-12-15 津軽海峡中央部の水温・塩分変動 ○渡邊修一(日本海洋科学振興財団)・中山智治(日本海洋科学振興財 団)・久慈智幸(日本海洋科学振興財団)・小藤久毅(日本海洋科学振興 財団)・印貞治(日本海洋科学振興財団)・小林直人(北大水産)・阿部泰 人(北大水産)・脇田昌英(JAMSTEC)・金子仁(JAMSTEC)・佐々木建一 (JAMSTEC)
16:45	23F-07-16 南大洋表層における小型動物プランクトンの分布と群集構造 ○大路紘裕(海洋大)・真壁竜介(海洋大・極地研・総研大)・土屋千歩(海 洋大)・松田亮(創価大)	16:45	23F-12-16 短波海洋レーダによる宗谷暖流の長期連続観測 ○江淵直人(北大低温研)・深町康(北大北極セ)・大島慶一郎(北大低温 研)・三寺史夫(北大低温研)・西岡純(北大低温研)・高塚徹(北大低温 研)・小野数也(北大低温研)・石川正雄(北大低温研)・大坊孝春(北大低 温研)・白澤邦男(北大低温研)・若土正曉(北大低温研)
17:00	23F-07-17 AMSR-E/2衛星観測(2002-22)による南極海沿岸ポリニヤの海水生 産量トレンド ○二橋創平(苫小牧高専・北大低温研)・田村岳史(極地研)・大島慶一郎 (北大低温研)	17:00	23F-12-17 宗谷暖流域におけるADCP後方散乱強度解析:海底堆積物の巻き上 がりと動物プランクトン日周鉛直移動 ○久賀みづき(北大低温研)・大島慶一郎(北大低温研)・深町康(北大北 極研究セ)・伊藤優人(極地研)・西岡純(北大低温研)
17:15	23F-07-18 プロファイリングフロートの海水検知・回避アルゴリズムの評価と 改良(2) ○小林大洋(JAMSTEC)		

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第3会場	
	23F-05	北西太平洋における生物地球化学的横断研究 野口真希 (JAMSTEC)・藤木徹一 (JAMSTEC)・ 本多牧生 (JAMSTEC)・岩本洋子 (広島大)・多田雄哉 (水俣病総合研) ★座長 岩本洋子 (広島大)
15:30	23F-05-07	水中グライダーによる基礎生産量見積り方法の検討 ○田中雄大(水産機構資源研)・長谷川大介(水産機構資源研)
15:45	23F-05-08	水中グライダーによる硝酸塩乱流鉛直フラックスの計測 ○長谷川大介(水産機構資源研)・田中雄大(水産機構資源研)
16:00	23F-05-09	トカラ海峡を異なる流路で流れる黒潮が形成する乱流と栄養塩供給のホットスポット ○長井健容(海洋大)・Gloria Silvana Durán Gómez(海洋大)・齊藤宏明(東大大気海洋研)・小川浩史(東大大気海洋研)・小針統(鹿児島大)・吉江直樹(愛媛大)・中村啓彦(鹿児島大)
16:15	23F-05-10	屋久島南方で発生するサブスーズスケール渦が下流域の生物生産に及ぼす影響 ○Gloria Silvana Duran Gomez(海洋大)・長井健容(海洋大)・小針統(鹿児島大)・中村啓彦(鹿児島大)
16:30	23F-05-11	全球規模のモデルにおける植物プランクトンの動的環境適応過程の重要性の評価 ○橋岡豪人(JAMSTEC)・増田良帆(JAMSTEC)・Lan Smith(JAMSTEC)・野口真希(JAMSTEC)
16:45	23F-05-12	Physiological Acclimation impacts Variability of Chlorophyll and Phytoplankton Composition ○S. Lan Smith(JAMSTEC)・Yoshio Masuda(JAMSTEC)・Taketo Hashioka(JAMSTEC)・Maki N. Aita(JAMSTEC)

ポスターセッション

ポスター会場 人間・環境学研究科棟地階講義室

掲示期間 9月25日 9:00~9月27日 15:00

立ち合い説明 9月25日 13:15~14:45

下線付き発表ID:若手賞選考対象者

23F-01 地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化の海洋生態系への影響評価

23F-01-P01 陸奥湾における海洋酸性化モニタリング

○脇田昌英(海洋研究開発機構)・高坂祐樹(青森水総研)・扇田いづみ(青森水総研)・長野晃輔(青森水総研)・遊佐貴志(青森水総研)・木元克典(海洋研究開発機構)・吉野順(東北環境科学サービス)・畳指祥子(海洋研究開発機構)・金子仁(海洋研究開発機構)・佐々木建一(海洋研究開発機構)・磯田豊(北海道大学)

23F-01-P02 海洋酸性化将来予測のモデルバイアスを考慮した修正

○辻野博之(気象研究所)・小杉如央(気象研究所)・遠山勝也(気象研究所)・北村佳照(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・石井雅男(気象研究所)・飯田洋介(気象庁)・小野恒(気象庁)・高谷祐介(気象庁)・西川史朗(海洋研究開発機構)・杉山徹(海洋研究開発機構)・五十嵐弘道(海洋研究開発機構)・石川洋一(海洋研究開発機構)

23F-01-P03 北西太平洋における海洋中の貧酸素化の監視と将来予測

○山田広大(気象庁)・川上雄真(気象研)

23F-01-P04 内湾の動物プランクトン群集と環境の変化

○寒川清佳(水産研究・教育機構)・田所和明(水産研究・教育機構)・青木一弘(水産研究・教育機構)・渡辺剛(水産研究・教育機構)・中島康太郎(愛知県水産試験場)・柘植朝太郎(愛知県水産試験場)・寛茂穂(水産研究・教育機構)・横内一樹(水産研究・教育機構)

23F-02 微量元素・同位体・放射性核種の生物地球化学循環

23F-02-P01 海底熱水中における溶存態MoおよびWの安定同位体比

○松岡航平(京都大学大学院)・高野祥太郎(京都大学化学研究所)・宗林由樹(京都大学化学研究所)

23F-02-P02 現場型放射線センサによる外洋域での鉛直連続計測

○下島公紀(東京海洋大学)

23F-02-P03 伊豆・小笠原・マリアナ弧の熱水域における海水中のFe, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb濃度と安定同位体比

○柚木啓輔(京大・理)・金村英雄(京大・理)・高野祥太郎(京大・化研)・宗林由樹(京大・化研)

23F-02-P04 西部北太平洋亜熱帯域における溶存有機態窒素の窒素同位体比にみられた季節変化

○葉師寺聖奈(東海大学大学院)・小松大祐(東海大学)・石井慧(東海大学大学院)・成田尚史(東海大学)・三野義尚(名古屋大学)

23F-03 洋物質循環に関わる微生物・ウイルスの諸現象—細胞から大洋スケールまで—

23F-03-P01 相模湾の珪藻ブルーム終息の鍵は寄生性ツボカビか

○田原将初(横浜国立大学 大学院環境情報学府)・瀬戸健介(横浜国立大学 大学院環境情報研究院)・下出信次(横浜国立大学 大学院環境情報研究院)・高山佳樹(創価大学 プランクトン工学研究所)・鏡味麻衣子(横浜国立大学 大学院環境情報研究院)

23F-04 海洋数値モデリング: 先進モデル・大循環モデルからデータ同化まで

23F-04-P01 MRI.COM北太平洋シミュレーションデータセット

○佐々木英治(海洋研究開発機構)・中野英之(気象研)・坂本圭(気象研)・辻野博之(気象研)

23F-04-P02 全球海洋モデルによる五大洋海盆間物質輸送タイムスケールの見積もり

○草原和弥(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究開発機構)

23F-04-P03 気象研日本近海モデルにおける河川由来栄養塩の日本近海生物生産への影響評価の試み

○浦川昇吾(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁)・辻野博之(気象庁気象研究所)・中野英之(気象庁気象研究所)・広瀬成章(気象庁気象研究所)・碓氷典久(気象庁気象研究所)・豊田隆寛(気象庁気象研究所)・川上雄真(気象庁気象研究所)・青木邦弘(気象庁気象研究所)

23F-04-P04 超解像畳み込みニューラルネットワーク (SRCNN) を用いた海洋モデル出力のダウンスケーリング手法の開発

○鈴木立郎(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究開発機構)・山上遥航(海洋研究開発機構)・大越智幸司(海洋研究開発機構)・松岡大祐(海洋研究開発機構)

23F-04-P05 横方向拡散に着目した海洋環境再現実験の精緻化に向けた取り組み

○長船哲史(海洋研究開発機構)・額頼慎也(海洋研究開発機構)・土居知将(海洋研究開発機構)

23F-04-P06 予報誤差と観測誤差の相関を考慮したアンサンブルカルマンフィルタ

○大石俊(理化学研究所)・小林勇毅(京都大学)・三好建正(理化学研究所)

23F-04-P07 日本近海長期海洋再解析FORA-JPN60の作成 (2) 観測データセット構築及び検証用データ

○広瀬成章(気象業務支援センター・気象研究所)・碓氷典久(気象業務支援センター・気象研究所)・西川史朗(海洋研究開発機構)・五十嵐弘道(海洋研究開発機構)・坂本圭(気象庁)・浅井博明(気象庁)・中野英之(気象業務支援センター・気象研究所)・石川洋一(海洋研究開発機構)

- 23F-06 熱帯の物理・化学・生物**
- 23F-06-P01 Seasonal Variation of Ocean Environment in the Savu Sea
○Florence Mila Purnomo Sie(Tohoku University)・Jarot Warwoto(Diponegoro University)・Anindya Wirasatriya(Diponegoro University)・Sayaka Yasunaka(Tohoku University)
- 23F-06-P02 西部熱帯北太平洋での測流による上方位相伝播を伴う東西流の経年変動
○石崎廣(気象研究所全球大気海洋研究部)・中野英之(気象研究所全球大気海洋研究部)・山中吾郎(気象研究所全球大気海洋研究部)
- 23F-07 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究**
- 23F-07-P01 観測モデル融合研究から理解する南大洋/南極沿岸域
○中山佳洋(北海道大学)
- 23F-07-P02 大気海洋結合モデルを用いた氷期の数千年スケール海洋循環変動に対する大気-水循環の影響調査
○國吉優太(東京大学大学院)・阿部彩子(東京大学大学院)・Wing-Le Chan(海洋研究開発機構)
- 23F-07-P03 北極海領域モデリングによる海水融解水データセットの構築
○渡邊英嗣(海洋研究開発機構)・朴昊澤(海洋研究開発機構)
- 23F-07-P04 冬季オホーツク海の海水減少による波浪増大
○岩崎慎介(寒地土木研究所)
- 23F-07-P05 北極海バロー海底谷における表層混合層の時系列観測
○伊東素代(海洋研究開発機構)
- 23F-07-P06 南大洋インド洋区の季節海水域における原生生物沈降フラックスの季節変化
○土屋千歩(東京海洋大学)・高橋啓伍(創価大学)・松田亮(創価大学)・佐野雅美(東京大学大気海洋研究所)・高尾信太郎(国立環境研究所)・真壁竜介(東京海洋大学・国立極地研究所・総合研究大学院大学)・黒沢則夫(創価大学)・茂木正人(東京海洋大学・国立極地研究所)・溝端浩平(東京海洋大学)
- 23F-08 地球科学における海洋プラスチック**
- 23F-08-P01 微細画分マイクロプラスチックを想定した海洋シミュレーションモデルの構築
許浩東(東大農学生命・東大大気海洋研)・松村義正(東大大気海洋研)・中野英之(気象研)・高橋一生(東大農学生命)・○伊藤進一(東大大気海洋研)
- 23F-08-P02 Visual observations and numerical particle tracking model approach on floating Marine Plastic Debris in the Gulf of Thailand
○Luadnakrob Pontipa(Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences)・Isobe Atsuhiko(Research Institute of Applied Mechanics, Kyushu University)・Irfan Tahira(Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences)
- 23F-08-P03 市民科学と深層学習による街中プラスチックごみ量の推定
○室屋龍之介(鹿児島大学大学院理工学研究科)・加古真一郎(鹿児島大学大学院理工学研究科)・松岡大祐(海洋研究開発機構)・磯辺篤彦(九州大学応用力学研究所)
- 23F-09 数ヶ月から数10年スケールの気候・海洋生態系の変動とその予測**
- 23F-09-P01 大気海洋結合モデルに同化する将来の表層水温・塩分データの作成
○牛島悠介(気象業務支援センター)・辻野博之(気象研)・水田亮(気象研)・中野英之(気象研)・遠藤洋和(気象研)・塩竈秀夫(環境研)・今田由紀子(東大大気海洋研)・荒川理(JAMSTEC)・行本誠史(気象研)・川上雄真(気象研)・浦川昇吾(気象研)・豊田隆寛(気象研)
- 23F-09-P02 Horizontal Diffusivity on Summer Oyashio Forecast Skill in terrain-following Ocean Model
○周宏偉(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・中野渡拓也(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・阿部祥子(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・永井平(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・瀬藤聡(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・奥西武(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・東屋知範(国立研究開発法人水産研究・教育機構)・黒田寛(国立研究開発法人水産研究・教育機構)
- 23F-09-P03 北西太平洋における海洋熱波のマルチシナリオ高解像度アンサンブル将来予測
○川上雄真(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)・西川史朗(海洋研究開発機構)・杉山徹(海洋研究開発機構)・黒木聖夫(海洋研究開発機構)・石川洋一(海洋研究開発機構)・佐藤克成(気象庁)
- 23F-10 海洋と大気の力学**
- 23F-10-P01 大気海洋結合モデル (CFES) への新しい積雲対流スキームの導入
○尾形友道(海洋研究開発機構)・馬場雄也(海洋研究開発機構)・山崎哲(海洋研究開発機構)・野中正見(海洋研究開発機構)
- 23F-10-P02 台風に対する深海の応答: 初期結果
○古恵亮(JAMSTEC)・深尾良夫(JAMSTEC)・杉岡裕子(JAMSTEC)
- 23F-10-P03 Near-field mixing driven by subinertial tidal forcing in the Bussol Strait
○Shuya Wang(愛媛大学)・Qun Li(Polar Research Institute of China)・Xu Chen(Ocean University of China)・Jing Meng(Ocean University of China)

23F-11	沿岸域の海洋循環と物質循環
23F-11-P01	西之島周辺における高衛星クロロフィルa海域と火山噴火の関係 ○堅田凜平(明治大学大学院農学研究所)・有吉志満(早稲田大学大学院基幹理工学研究所)・鮎澤颯(名古屋大学工学部)・齋藤幸碩(東北大学大学院理学研究科)・石坂丞二(名古屋大学ISEE)・岩淵弘信(東北大学大学院理学研究科)
23F-11-P02	沿岸植物プランクトンのNO ₃ 半飽和濃度の再評価 ○越川海(国立環境研究所)・東博紀(国立環境研究所)・河地正伸(国立環境研究所)・西嶋渉(広島大学)
23F-11-P03	外洋の栄養塩供給の年変動が瀬戸内海平均栄養塩濃度に与える影響 ○LENG QIAN(愛媛大学理工学研究所)・郭新宇(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)・森本昭彦(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)
23F-11-P04	瀬戸内海の伊予灘におけるプランクトン中のPCB濃度の季節変動 ○Zhao Xueting(愛媛大学大学院理工学研究所 沿岸環境科学研究センター)・後藤哲智(愛媛大学)・吉江直樹(愛媛大学)・国末達也(愛媛大学)・郭新宇(愛媛大学)
23F-11-P05	瀬戸内海における微小動物プランクトンの分布特性 ○岡崎雄二(水産研究・教育機構)・田所和明(水産研究・教育機構)・阿保勝之(水産研究・教育機構)・樽谷賢治(水産研究・教育機構)
23F-11-P06	大阪湾海水中の溶存態セレンの分布挙動 ○白井翔(近畿大学大学院)・中口譲(近畿大学)
23F-11-P07	バルト海における気体交換速度 ○土橋稜(ハワイ大学)・David T. Ho(ハワイ大学)・Peter Schlosser(アリゾナ州立大学)
23F-11-P08	スピア型間隙水サンプラーの検討 ○鈴木昌弘(産総研)・塚崎あゆみ(産総研)
23F-11-P09	諫早湾堆積物中のアミノ酸の分布 ○高巢裕之(長崎大学大学院)・宮原昂一郎(長崎大学大学院)・伊藤真依子(長崎大学大学院)
23F-11-P10	マルチデータソースで捉えられた <i>Karenia mikimotoi</i> 赤潮の短期変動 ○青木一弘(水産機構・資源研)・杉松宏一(水産機構・技術研)・吉村直晃(熊本県水研セ)・黒木善之(熊本県庁)・中島広樹(鹿児島水技セ)・保科圭佑(鹿児島県庁)・浦啓介(東町漁協)
23F-11-P11	駿河湾における溶存有機物と原核生物の関係 ○山岡望海(静岡大院)・宗林留美(静岡大院)・久保篤史(静岡大院)・西川淳(東海大海洋)・松浦弘行(東海大海洋)・吉川尚(東海大海洋)・大林由美子(愛媛大沿岸セ)
23F-11-P12	駿河湾湾奥域における表層熱含有量の季節サイクル ○轡田邦夫(東海大海洋)・高橋大介(東海大海洋)・三宅倫太郎(明電システムソリューション)・勝間田高明(東海大海洋)
23F-11-P13	エッジ検出による沿岸フロントの抽出 廣川綜一(神戸大学)・○林美鶴(神戸大学)
23F-11-P14	潮汐成分の振幅および位相差を示すダイアグラムを用いた東京湾の計算結果の検証 ○坪野考樹(電力中央研究所)・岡田輝久(電力中央研究所)・三角和弘(電力中央研究所)・津旨大輔(電力中央研究所)
23F-11-P15	津軽海峡東方海域における津軽暖流の短期変動 ○印貞治(日本海洋科学振興財団)・久慈智幸(日本海洋科学振興財団)・小藤久毅(日本海洋科学振興財団)・中山智治(日本海洋科学振興財団)・金子仁(JAMSTEC)
23F-12	日本海とその隣接海域の物理・化学・生物
23F-12-P01	気候変動が日本海の深層循環に与える影響に関する数値的研究 ○田中祐希(福井県立大学)・澤田有里(福井県立大学)
23F-12-P02	日本海における海洋熱波頻度の三次元構造と近年の急増 ○本林英也(富山大学理工学研究所)・田口文明(富山大学学術研究部)・美山透(海洋研究開発機構・APL)
23F-12-P03	北海道日本海における <i>Metridia pacifica</i> の季節・経年変動と春季の突出した個体数 ○有馬大地(北海道立総合研究機構中央水産試験場)・嶋田宏(北海道立総合研究機構釧路水産試験場)・浅見大樹(北海道立総合研究機構さげます・内水面水産試験場)
23F-14	中緯度海洋の果たす役割
23F-14-P01	成層期における黒潮域のFrontogenesisに伴う亜表層クロロフィルa濃度の増大 ○伊藤大樹(水産研究・教育機構水産資源研究所)・児玉武稔(水産研究・教育機構水産資源研究所(現在：東京大学大学院農学生命科学研究科))・清水勇吾(水産研究・教育機構水産資源研究所)・瀬藤聡(水産研究・教育機構水産資源研究所)・日高清隆(水産研究・教育機構水産資源研究所)・安倍大介(水産研究・教育機構水産資源研究所)・寒川清佳(水産研究・教育機構水産資源研究所)
23F-14-P02	Ocean DNAに基づく海洋前線魚類分布の特徴と影響因子の分析 ○LIN Yuan(東京大学大気海洋研究所)・YU Zeshu(東京大学大気海洋研究所)・Sk Istiaque AHMED(東京大学大気海洋研究所)・樋口富彦(東京大学大気海洋研究所)・岡英太郎(東京大学大気海洋研究所)・WONG Marty(東京大学大気海洋研究所)・井上潤(東京大学大気海洋研究所)・兵藤晋(東京大学大気海洋研究所)・伊藤進一(東京大学大気海洋研究所)

- 23F-14-P03** 北太平洋の混合層深度の季節経年変動
○大塚響(東北大学)・安中さやか(東北大学)・植原量行(東海大学)・平野雄也(東海大学)
- 23F-14-P04** 東シナ海上の梅雨前線帯に流入する水蒸気がメソ対流系の発達に及ぼす影響 -2022年6月19日における事例解析-
○万田敦昌(三重大)・立花義裕(三重大)・中村啓彦(鹿児島大)・滝川哲太郎(長崎大)・仁科文子(鹿児島大)・茂木耕作(JAMSTEC)・趙寧(JAMSTEC)・飯塚聡(防災科研)
- 23F-14-P05** 東シナ海における海面水温の経年変動特性 その変動メカニズムと梅雨前線帯に与える影響の解明
○下田彩花(鹿児島大学水産学部)・中村啓彦(鹿児島大学水産学部)・仁科文子(鹿児島大学水産学部)・喬煜翔(鹿児島大学水産学部)
- 23F-14-P06** 気候変化から探る2010年以降災害級の冷夏が発生していない理由
○天野未空(三重大院生物資源)・立花義裕(三重大院生物資源)・安藤雄太(新潟大院自然科学)・九州大院地球惑星科学)
- 23F-14-P07** 高解像度大気海洋結合モデルにおける黒潮続流の十年規模変動と中央熱帯太平洋の関係性
○田村優樹人(東京大学大学院)・東塚知己(東京大学大学院)・JAMSTEC)
- 23F-14-P08** 日本周辺における海洋貯熱量と黒潮続流の流路変動の関係
○堀聡太(富山大学大学院理工学研究科)・田口文明(富山大学都市デザイン学部)
- 23F-14-P09** 東シナ海における黒潮の擾乱と近慣性内部波の関連性
○陶山拓(鹿児島大学大学院)・中村啓彦(鹿児島大学)・仁科文子(鹿児島大学)・堤英輔(鹿児島大学)・喬煜翔(鹿児島大学)・Hong Sik Min(KIOST)・Hanna Na(SNU)
- 23F-17** **海洋学一般**
- 23F-17-P01** 衛星海色(GCOM-C, AHI)とBGC-ARGOの比較
○村上浩(宇宙航空研究開発機構)
- 23F-17-P02** 黒潮安定流路の違いが浜名湖の湖内環境に与える影響について
○坂本天(株式会社オーシャンアイズ)・田中裕介(株式会社オーシャンアイズ)・JAMSTEC)・村中康秀(静岡県環境衛生科学研究所)・金子智英(静岡県環境衛生科学研究所)・鷲山裕史(静岡県水産)・海洋技術研究所浜名湖分場)・上原陽平(静岡県水産)・海洋技術研究所浜名湖分場)
- 23F-17-P03** Wave Gliderによる三陸沖海面熱フラックス観測
○永野憲(海洋研究開発機構)・長谷川拓也(気象庁)・有吉慶介(海洋研究開発機構)・飯沼卓史(海洋研究開発機構)・福田達也(海洋研究開発機構)・藤井信宏(マリンワークジャパン)・富田史章(東北大災害科学国際研究所)・堀高峰(海洋研究開発機構)・日野亮太(東北大院理)・高橋浩晃(北大院理)
- 23F-17-P04** 北海道オホーツク海沿岸で観測された流氷渦の解析
○青寄勇星(防衛大学校)・板野稔久(防衛大学校)
- 23F-17-P05** 教師なしクラスタリング結果から見る混合水域における海洋鉛直構造の時空間変動
○三部文香(東北大学大学院)・須賀利雄(東北大学大学院)・JAMSTEC)・Niklas Schneider(University of Hawai'i at Manoa)・Bo Qiu(University of Hawai'i at Manoa)・Kelvin Richards(University of Hawai'i at Manoa)
- 23F-17-P06** 有効径D20によるベンゼン断抵抗における粒度組成代表の試み
○梶原直人(水研セ技術研)
- 23F-17-P07** マコンプの分解過程に関する実験的検討
○石川義朗(環境科技研)・馬場貴士(八戸工業大)・田中義幸(八戸工業大)・桐原慎二(弘前大)
- 23F-17-P08** 駿河湾の海水を用いたオリゴ糖様化合物の生産実験
○上田裕希(静岡大学大学院)・宗林留美(静岡大学大学院)・西川淳(東海大海洋)・松浦弘行(東海大海洋)・吉川尚(東海大海洋)・大林由美子(愛媛大沿岸セ)
- 23F-17-P09** MiFish分析による魚種eDNA検出の3つの表面サンプリング方法間の比較
○AHMED Sk Istiaque(The University of Tokyo)・YU Zeshu(The University of Tokyo)・HIGUCHI Tomihiko(The University of Tokyo)・INOUE Jun(The University of Tokyo)・WONG Marty(The University of Tokyo)・YOSHIZAWA Susumu(The University of Tokyo)・ITOH Sachihiko(The University of Tokyo)・KOMATSU Kosei(The University of Tokyo)・KAWAGUCHI Yusuke(The University of Tokyo)・TSUTSUMI Eisuke(Kagoshima University)・HYODO Susumu(The University of Tokyo)・MORRONGIELLO John(The University of Melbourne)
- 23F-17-P10** 南大洋インド洋セクターにおけるナンキョクスカシイカ *Galiteuthis glacialis* 稚仔の形態発育と空間分布
○水谷純(東京海洋大学大学院)・宇野唯(東京海洋大学大学院)・立花愛子(東京海洋大学)・若林敏江(水産大学校)・茂木正人(東京海洋大学)・国立極地研究所)
- 23F-17-P11** 低次生態系モデルの生理パラメータ推定について
○瀬藤聡(水産機構)
- 23F-17-P12** 漁業の脱炭素化に向けた漁船のCO₂排出量の推計と分析
○立田蒼樹(大阪大学大学院)・芳賀智宏(大阪大学大学院)・松井孝典(大阪大学大学院)・山北剛久(JAMSTEC)